

地域と学校の連携・協働活動の充実に向けて ～ふるさとを愛する心を育むために～

瑞浪市教育委員会 社会教育課

1 はじめに

瑞浪市の人口は平成17年（2005年）に約4.2万人とピークを迎えたが、その後減少に転じ平成25年（2013年）に4万人を下回り、令和元年（2019年）には約3.7万人まで減少した。特に児童生徒の減少は他の年齢層と比べても著しい。これは平成28年度以降の学校統廃合にもつながり、現在小学校7校、中学校3校となっている。さらに今後、小学校で複式学級編制が予想される児童生徒数減少への対応は市の喫緊の課題となっている。

2 瑞浪市の現状

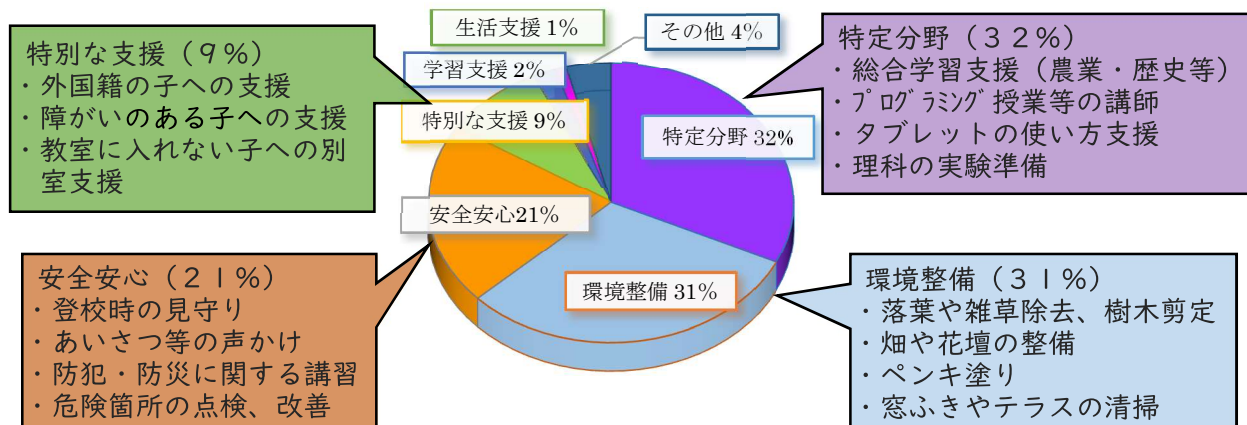
この課題解決の方策の1つとして、みずなみ教育プラン・後期計画（令和元年～5年度）では、令和6年度までに市内全校にコミュニティ・スクールを開設するとしており、令和元年度より釜戸小学校・稲津小学校をモデル校として準備委員会をスタートさせた。両校は学校評議員会を母体にして学校運営協議会準備委員会を立ち上げた。令和3年度から両校において正式に学校運営協議会がスタートした。2校の実践により令和4年度に新たに4校で学校運営協議会がスタートする。準備委員会や設置後の取組などをもとに瑞浪市社会教育委員会における研究調査を以下に記す。

3 園や学校へのアンケート調査より

社会教育委員会では、学校運営協議会の立ち上げ前に市内各園や学校に以下の8つの項目のアンケートを行った。その結果を集計し、園や学校からの要望を内容別に分類したものを以下に示す。

質問1	子供達の学習にあたり、地域や外部の方からどのような協力があるとよいですか。
質問2	幅広い教育のために、地域や外部の方にどのような講師がいたら依頼したいですか。
質問3	教育環境の整備に関して、学校が困っていることや苦勞していることはありますか。
質問4	今年度の「生活科」や「総合的な学習の時間」の中に、地域の方が活動に協力できる授業はありますか。学年と内容を教えてください。
質問5	授業や活動の準備や補助のために、地域や外部の方が協力できることはありますか。
質問6	子供達の安全を守るために、地域や外部の方が協力できることはありますか。
質問7	地域と学校の連携・協働を推進し、かつ今後も持続していくためには、どのような政策が必要だと考えますか。
質問8	家庭の事情にかかわらず、誰もがいつでもどこでも学びたいときに学べる態勢づくり（生涯学習の推進）のために、地域にできること、期待することを教えてください。

【園・学校からの要望を内容別に分類した集計結果】



4 モデル校の取組から

これらのアンケート結果を参考にしてモデル校において実践を進めた。さらに、社会教育委員会での実践に対して成果と課題を次の8つの視点で検討した。

- ① 学校運営協議会立ち上げまでの動き ② 組織図 ③ 組織及び会議回数 ④ 構成員
⑤ 願う子供の姿 ⑥ 地域学校協働活動推進員 ⑦ 年間計画 ⑧ 地域への周知

この中から、今回は紙面の都合上、視点①、③、⑧に絞って記す。（「○」成果・「△」課題）

視点①「学校運営協議会立ち上げまでの動き」について

- 地区への説明会を何度も開催したり研修会を開催したりするなど、地域住民に理解・協力してもらえるように丁寧に進めている。
- 評価委員会を位置付け、PDCAサイクルで進めようとしている。

視点③「組織及び会議回数」について

- 今ある組織を活用することで地域の負担感を減らしている。
- 様々な地域団体が参加しているため地域全体で進めようとする意識が伝わる。
- △兼務者の負担も配慮して無理のないところでやりたい。

視点⑧「地域への周知」について

- 学校報や公民館便り、まちづくりHP、市担当者からの通信等学校、地域、行政の関係団体からの発信により地域住民の理解が深まった。
- △地域住民への周知に加え、子供や教職員への周知も行いたい。

5 地域と学校の連携・協働活動の実践例

○釜戸小学校・・・3年生は総合学習で地元太鼓グループ「青龍」に太鼓の指導を受けている。町文化祭では大勢の地域住民が見守る中、太鼓の演奏を披露した。会場からは割れんばかりの拍手が沸き起こった。その他、「スナッグゴルフ」「竜吟の森学習」等を、また朝活動時に地域ボランティア約120名が集まり子供たちと一緒に運動場の草取り活動を行った。この活動は好評となり他地区へも広がっていった。

○稲津小学校・・・稲津地区では町の主要団体が属する学校運営協議会がリードして様々な活動を行っている。小里城顕彰会の方が子供たちと一緒に小里城跡まで登山をし、その歴史について説明した。更生保護女性の会が環境福祉委員会と行う花壇の花植え、さらには地域の陶器関係の方を講師に招き作陶教室を行った。目指す子供の姿「ふるさと大好き」に向けて、学校と地域がともに歩む学校づくりを行っている。

○日吉小学校・・・日吉地区は旧中山道「細久手宿」をはじめ「半原操り人形浄瑠璃」「地歌舞伎」等の史跡や伝統芸能、さらには天狗塚や木曾ヒノキなど自然が大変豊かである。これら地域の特徴を生かして、6年生の「ふるさと学習」、5年生の「里山体験」等を地域講師が担っている。「子供は地域の宝」を合言葉に地域と学校が協働して日吉のすばらしさを子供たちに伝えている。



6 おわりに

文科省はコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を推奨している。瑞浪市の場合、人材確保等の観点から、学校運営協議会＝地域学校協働本部として進めていくのがよいという意見もある。今後も既存の活動を軸に持続可能な取組により、活気あるまちづくりを目指し、ふるさと瑞浪を心のよりどころとできる人を一人でも多く育てていきたい。